

第4回 宜野座村長杯
漢那ダムサイクルロードレース大会

<テクニカルガイド>

Ver.2025-0928



主 催 沖縄県自転車競技連盟

後 援 宜野座村、沖縄タイムス社

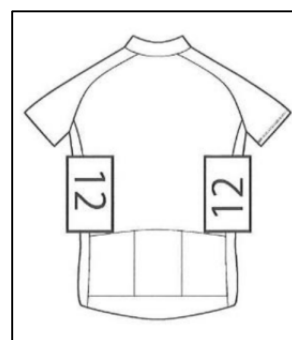
1. 日時とタイムスケジュール 2025(令和7)年10月12日(日)

※本大会(ロードレース①)は縄県高校総体(県高体連主催、ロードレース②)との同時開催・共同運営で行います。

7:15	役員集合目安(コース準備は6:30 集合)
7:45 ~ 7:55	役員・監督(高体連引率者)ミーティング
8:00 ~ 8:20	選手受付・ヘルメットチェック・チップ配布
8:10 ~ 8:30	立哨員配置、無線確認
8:30 ~ 8:45	公式練習
8:45 ~ 9:00	(連盟)整列、スタート前ライダーズミーティング
9:00 ~ 10:10	ロードレース①(連盟)40.5km(2.7km×15周)
10:10 ~ 10:20	役員休憩・コース準備・確認
10:20 ~ 10:30	(高体連)整列、スタート前ライダーズミーティング
10:30 ~ 12:30	ロードレース②(高体連)59.4km(2.7km×22周) 1分後発走 女子29.7km(2.7km×11周) ※高校生レース中に連盟の表彰式を行う。
レース終了後	高体連表彰式(ロード、トラック1日目) 片付け、役員・監督(高体連引率者)ミーティング

2. 受付及びゼッケンの配布について

- ① 受付時間に遅れた者は参加できません。
- ② 招集アナウンスに従い、遅延が起きないように大会運営に協力してください。
- ③ (公財)日本自転車競技連盟(JCF)公認ヘルメットを装着してください。受付時にヘルメットチェックを実施します。非公認ヘルメットや、ひび・破損の有るヘルメットでは出走を認めません。
- ④ DNS(出走辞退)の場合は、大会前日までならEメール、電話等で連盟事務局へ申告をしてください。大会当日では、電話もしくは大会へ来られる方を介しての伝言等でDNS申告をお願いします。
- ⑤ 今大会では計測チップは使用しません。
- ⑥ ゼッケンは右図を参考に数字の向きに注意し、取り付けてください。レース終了後のゼッケンの返却は不要です。



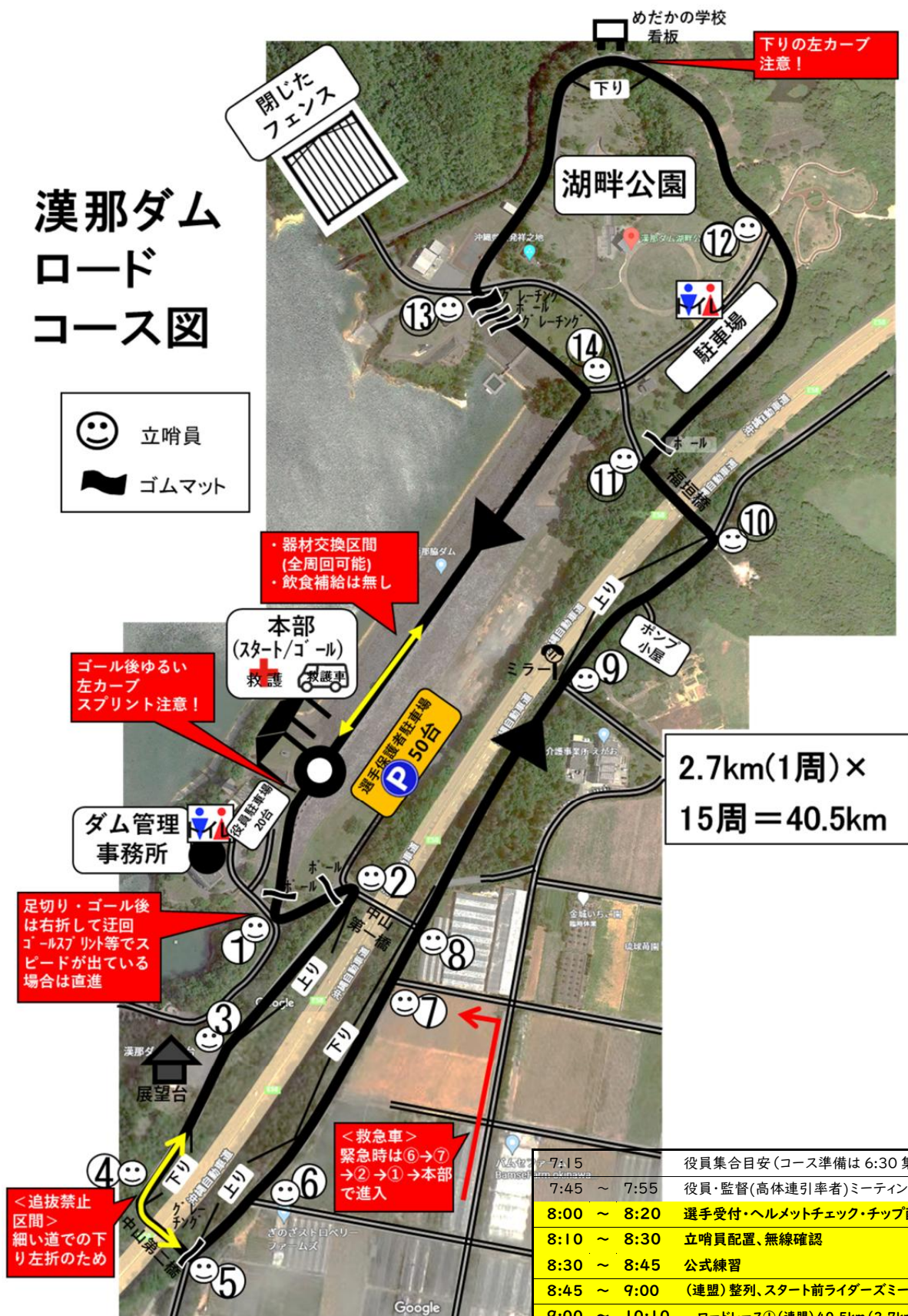
3. 表 彰

総合(年代に関係ない)1位~3位選手に賞状を授与します。

総合以外に下表のとおり、年代別1位に賞状を授与します(総合1~3位は年代別表彰対象から除く)

総 合	1 位	2 位	3 位
10 代	1 位	50 代	1 位
20 代	1 位	60 代以上	1 位
30 代	1 位	女子	1 位
40 代	1 位		

4. 会 場 漢那ダム湖畔公園特設コース(1 周 2.7 km)



7:15	役員集合目安(コース準備は6:30 集合)
7:45 ~ 7:55	役員・監督(高体連引率者)ミーティング
8:00 ~ 8:20	選手受付・ヘルメットチェック・チップ配布
8:10 ~ 8:30	立哨員配置、無線確認
8:30 ~ 8:45	公式練習
8:45 ~ 9:00	(連盟) 整列、スタート前ライダーズミーティング
9:00 ~ 10:10	ロードレース①(連盟) 40.5km (2.7km×15 周)
10:10 ~ 10:20	役員休憩・コース準備・確認
10:20 ~ 10:30	(高体連) 整列、スタート前ライダーズミーティング
	ロードレース②(高体連) 59.4km (2.7km×22 周)
10:30 ~ 12:30	1 分後発走 女子 29.7km(2.7km×11 周)
	※高校生レース中に連盟の表彰式を行う。
レース終了後	高体連表彰式(ロード、トラック1日目)
	片付け、役員・監督(高体連引率者)ミーティング

5. 競技規則について

- ①最新の（公財）日本自転車競技連盟規則及び大会特別規則により行います。
- ②**競技中の飲食物補給はできません**。競技中のボトルや補給食のごみ等の投げ捨ても禁止します。違反した選手は失格とします。
- ③**競技中の機材交換はゴール前ストレート（図の黄色矢印区間）でのみ認めます（機材のトラブルや故障）**。
- ④パレードスタートを行います。
- ⑤アームカバー・レッグカバー類は、身体の形を変えるものでない限り使用できます。コンプレッション（着圧）タイプは禁止です。
- ⑥斜行、押圧、威嚇等の危険行為者に対しては厳しく対処します。
- ⑦競技中も含めて、安全上の理由によりコースレイアウトや周回数を変更することがあります。
- ⑧落車等の重大事故が起きて救急車要請をした場合は、状況に応じて救急車進入のためレースを中断します。
- ⑨**足切りについて**
 - ・基本的に足切りを行いませんが、事故防止のために追い越し及び追い越される際十分に注意してください。
 - ・周回遅れ選手のドラフティングを禁止します
 - ・周回遅れが発生した場合、先頭（総合1位）がフィニッシュした時点での周回を全選手の最終周回として、各自フィニッシュラインを通過して競技終了とします。
- ⑩その他事項については、審判長の判断により決定します。

6. 使用する機材について

- ①安全に整備された自転車で参加してください。
- ②ペダル、チェーンがある自転車を使用してください。
- ③ブルホンバー、DH バー、エンドバー等のエアロハンドルは使用禁止です。
- ④バッグ・ポンプ・ライト等の落下する可能性のある物は装着禁止です。
- ⑤ドリンクボトルは必ずボトルゲージに装着してください（ペットボトルは禁止です）。
- ⑥e-bike(電動アシスト機構付きの自転車)は使用禁止です。
- ⑦自転車にカメラを搭載したい場合は、「車載（オンボード）カメラ搭載申請書」を受付時に必ず提出し、審判部の許可を得てください。申請書は公式 LINE または Facebook から各自ダウンロード、または当日受付デスクにも用意してあります。カメラは自転車本体へ確実に固定されたもののみとして、身体およびヘルメットへの搭載は禁止とします。競技中・競技終了後にカメラの無断搭載が発覚した場合は失格とし、さらに今後の連盟主催大会への参加を禁止とします。大会終了後に当連盟が映像データの提出を求めた場合はこれに応じていただきます。映像データの公開により係争事案等に発展した場合は、当連盟はその責任を負わないものとします。

7. その他の注意点

- ①指定場所以外での競技中のコース横断は絶対にしないでください。事故防止のため、審判員・立哨員の指示に必ず従ってください。
- ②ゴミなどは全て持ち帰り、トイレの使用も含めて会場施設の美化に努めてください。借用している大会会場のすべての施設・植栽等を傷付けたり壊してはなりません。
- ③参加料の受領後の返金は、いかなる場合もできません。
- ④ロードレース会場コースは、大会当日の指定時間以外の練習使用を一切禁止します
（禁則を破り、近隣施設、住民への迷惑行為や事故などが起きた場合は、今後の大会開催ができなくなり、自転車競技への理解獲得の大きな障害となることを自覚してください）

⑤選手・応援等は役員駐車場に停めずに、必ず選手保護者駐車場を利用してください。

⑥救護について

本部に救護班（医師）を設置するが、応急処置の他は参加者の責任とします。また、各自において熱中症の予防に努め、体調不良の際は本部救護班へ報告して指示に従ってください。

⑦競技中の事故又は不可抗力に対して当者同士賠償責任認めません。原則として主催者側は、その責任を負いません。

⑧保険について

万一事故の場合、加入している保険範囲（死亡 126 万円、入院 3,000 円／日、通院 2,000 円／日）以外の補償はしません。保険の適応範囲は「出発から帰宅までの大会に係る行為（熱中症や食中毒も含みます。役員にも適応される）」とします。保険を使用する場合は事務局まで連絡してください。

⑨個人情報について

主催者は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法令等を順守し、個人情報を取り扱います。大会参加者へのサービス及び大会運営向上を目的として、参加者の個人情報及び肖像を利用するほか、大会に関する放送、情報メディア（動画配信、SNS 等）、WEB サイト、写真、印刷物等において利用する場合があります。

8. 大会情報発信

各種お知らせ、大会当日の進行、リザルト等については、以下の SNS にて配信します。

